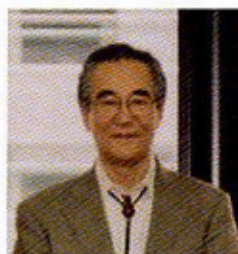


## 第6回ホームカミングデー の報告



同窓会常任理事  
ホームカミングデー委員  
中島 孝明

今年もホームカミングデーが11月3日の文化の日、新宿校舎で開催されました。

6年後の創立125周年記念に向けて、2001年に始められて6回目当たるこの行事ですが、「懐かしい母校、再発見の日」を合言葉に本学園卒業後20年以上を経過された方々を5年ごとに招待して、学園の現状を直接ご覧いただき、校友と学園の連携をなお一層強めようと毎年続けられてきました。

今年の専門学校の招待者は昭和30年、35年、40年、45年、50年、55年、60年に卒

業された方々で20名程度のご出席をいただきました。全体の参加者は260名余でした。当日は学園、各学校の近況報告、恩師や旧友との懇親を通して楽しいひと時を過ごしていただけるよう実行部会の一員として、願っておりました。

さて、歓迎式典が3階のアーバンテックホールで、10時30分の定刻に始まりました。

まず、歓迎の挨拶が大橋理事長に始まり、長嶋校友会長と続いた後、卒業生代表のご挨拶となりました。



今年は大学、高校、専門学校とも機械系の方々でしたが、それぞれユニークなお話でした。専門学校からは昭和35年卒業の牛木守さんが、来る125周年の創立記念日までに新たな専門学校の再開を切望する、と発言されました。

つぎに、記念講演が三浦学長から「学生プロジェクトの活躍と支援体制」についてのお話があり、[NHK大学ロボコン2006]が放映され、本学チーム「シンパチ」がベスト4入りし、デザイン賞を獲得した経緯の説明があり、今後のご支援をよろしくと、お願いされました。

いよいよ懇親会です。会場は1階アトリウムで12時30分から立食パーティーとなりました。

学長、各学校長から、学園近況報告があり、

続いて乾杯です。専修学校昭和30年卒業の桑原宗一郎さんの音頭で一同、渴いた喉を潤しました。

恩師や旧友を囲み、それぞれのグループが入り乱れて会話が弾んで来て、プラスバンド演奏もあり、喧騒の中、いよいよお楽しみ抽選会です。大当たりを獲る人、一番遠いで外れる人、悲喜こもごもです。ちなみに山本会長は今回も？等賞の枕を当てました。うらやましい。

その後、7階の食堂、同窓懇談コーナーへ。時の経つのも忘れて楽しい午後を過ごし、散会となりました。

来年の第7回ホームカミングデーには、該当年度の卒業生に招待状が届くと思います。そのときは万障お繰り合わせの上ご参加ください。